広報

いちき串木野

愛がいっぱいのまち

Ichikikushikino City

Public Relations

2018
VOL.152
6
2018年6月20日発行

いちき串木野
明治維新
150周年

MACHI HITO GENKI

まち ひと 元気

楽しみながらプレーしたい

生福バドミントン

生福地区内を拠点に活動するバドミントンクラブ「生福バドミントン」。

訪れた生冠中学校体育館では、館内に「スパーン」「パーン」と心地よいシャトルの音と、多くの笑い声が響いていました。毎週水曜日の夜、10代から70代の老若男女が参加し、プレーを楽しみながら、世代間を通した和やかな空間がつくられています。

このクラブの創設者は原口吉子さん。平成11年頃、県外から帰省し、以前ＰＴＡの保護者で活動していたバドミントンを、こちらでも「自分のレベルに合わせて遊びたい」と思いたちます。そして、同じ生福地区のPTA保護者や教員に呼びかけ、ほぼ初心者ばかりの18名で活動を始めました。

当初は盛んに活動をしていたそうですが、徐々に会員は減少。冬場の練習では２～３名しか集まらず、１試合もできない状況が続くなど、クラブ存続を迷う時期もあったそうです。

そんな時、上醉尾 俊廣さん、川宿田 尚徳さんがクラブに参加。徐々にクラブの雰囲気に変化が訪れます。

上醉尾さんらの呼びかけで、メンバーは次第に増え、現在では25名と、創設当初を大きく上回ります。知人等にクラブの話をするだけで、「特別なことは何もしていない。『参加していいか』と聞かれると、『どうぞ』と言うだけ」と謙遜する上醉尾さん。

しかし、クラブに参加するからには、あいさつやプレー上のマナーなど、上下関係、人間性を重んじていると表情を引き締めます。

無言で参加する若者には、こちらから声をかけ、帰る時には「また来なさいね」と声をかける“親心”も忘れません。

練習も、年輩者から若者まで混ぜて行うなど、みんな楽しめるように工夫することで、人と交わり、自然に会話が生まれ、いい雰囲気になっているといいます。原口さんも「おばちゃんは動かないからね！」というと、一緒に組む若者は「はい、分かりました！」と、みんな素直に接してくれると顔をほころばせます。

今は、練習以外の交流も盛んになり、自分たちが元気をもらい、それもまたやりがいになっていると嬉しそうに話します。

自家栽培の野菜などの差し入れ、クリスマス会、SNSでの連絡など、様々な交流でみんながつながり、「最初は、自分たちがリードしていたが、今は逆に若者がリードしてくれている。みんな、いい子」と嬉しそうに話す上醉尾さん。

年齢的な上下関係があるからこそ成り立っているという、居心地の良い空間。

技術を高めながらも、楽しみ、笑いがこぼれる交流を続けたいという思いは、これからもシャトルとともに高く舞い上がります。

メンバー手書きのユニフォーム

地域おこし協力隊の

褒められて伸びる子のコラム

vol.26　今月のコラムニスト　亀岡美咲　ickkskn2016　検索

皆さん、こんにちは！梅雨の時期、いかがお過ごしでしょうか？最近新しく買ったお気に入りの傘の出番が多くて、ウキウキの亀ちゃんです！さて私は、故郷愛媛県からいちき串木野市の地域おこし協力隊として移住し、１年３か月が経ちました。この１年３か月。普通に生きていたら出会えないジャンルの方々、出会えない数のたくさんの方々にお会いして、本当に充実した日々を過ごしています。大学を卒業してすぐ、旅行ですら来た事がない鹿児島県に降り立ち、何の経験もない新卒ペーペーの私は、私なりにこのいちき串木野市と向き合ってきました。（きたつもりです。）

最近つくづく感じることが、「一人じゃなんにもできない」ということ。「地域おこし協力隊」なんてたいそうな名前で活動していますが、これまでで私一人で達成できたことなんて一つもないし、もちろんこれからもないと思います。それくらい「地域おこし協力隊」は、私は、地域の皆さまに支えていただいているんだな、と感じます。悩みを打ち明けられる人も、喜びを分かち合ってくれる人も、ただただ一緒に飲んでくれる人（笑）も、みんな私の“タカラモノ”です。そんなタカラモノがいちき串木野市にたくさんできました。任期はあと１年９か月。任期後のことを考えると、不安になったり、気持ちが下がったりすることもあります。私なりの決断をして、皆さんからいただいた御恩をしっかりお返しできるようなことを生業としていきたいと思っていますので、どうか皆さん優しく見守ってください♡

今後は、旭町のコミュニティスペースまちなかサロンにて、２か月に一度開催予定の「マママルシェ」（次回は８月開催予定。またお知らせします）、そしてコミュニティＦＭ局開設に向けた活動、また地域の女性たちと共に立ち上げた子育て支援、まちづくり団体「FemStyle」の活動などに携わりながら楽しく活動していきたいと思います！これからも亀ちゃんを、よろしくお願いします♡

いちき串木野市に来たばかりの頃の写真！先輩アカメガネさんとの１枚。
鹿児島って面白い！この時感じた初心を胸に、もっと頑張ります‼

Ichksgram

hanadanaolo

串木野ダム近くの公園です。巨大滑り台がありました。
（花田直樹）

fmkz

桜島で行われたWALK INN FES!2018。いちき串木野市は『チェキで思い出を残そう』という企画で参加！
（小林史和）

gacky0809

釣り場としても最高と言われる、本市の沖合で念願の海釣り！同行者は60センチ超えの鯛を釣り上げてましたw
（板垣勝）

takatchan_7

地元兵庫県でイベントを開催しました！
＃兵庫県と鹿児島県をつなぐ夜＃神河町
＃いちき串木野市
（高嶋直輝）

ICHIKIKUSHIKINO

まちの話題

叙勲おめでとうございます

自治公民館長を続けられた古園四郎さん（中向）が、旭日単光章を授章されました。

これは、平成２年度から22年間にわたり中向自治公民館長を務め、荒川地区公民館長も20年間務められるなど、長年にわたり地域の自治活動に尽力された功績によるものです。

大きくな～れ さつまいも苗植え体験

５月21日に濱田酒造㈱の自社農園で市来保育園と串木野保育園の園児がさつまいもの苗植えを体験しました。

この体験会は、子どもの頃から自然を大切にする心を育み、本市の特産品「本格焼酎」への関心を深めてもらう目的で毎年行われています。

園児たちは竹の棒を使い、サツマイモの苗を15㎝ほどの深さに、上手に植えていきました。

体験会のあと、市内の自然や特産品などを学ぶ体験記録会も行われ、園児達は苗植えの想い出を楽しそうに記録していました。

命の大切さ学んで　ＡＥＤ講習会

市来小学校５・６年生約110人を対象としたＡＥＤ講習会が、５月21日、同校体育館で開催されました。講習会では、心臓マッサージ、ＡＥＤの取扱いなどを、プール学習が始まる前のこの時期に合わせて学びました。講師の消防署員から「命にかかわること」と説明を受け、児童たちは一生懸命、救命処置に取り組んでいました。

本市では、平成28年度からすべての公立小学校でＡＥＤ講習会を行っています。

鹿児島弁を楽しんで

５月13日、市民文化センターで喜劇集団「オモシテガ‼」による鹿児島弁演劇が開催されました。

これは、串木野日置法人会が公益社団化５周年を記念して開催し、鹿児島の方言を再認識してもらい、子どもや高齢者の社会問題などから生活を見つめなおしてもらおうと企画されたものです。

劇では、税金や年金、オレオレ詐欺など、笑いを交えて演じられ、会場を訪れた約200名の観客からは、終始拍手や笑いが出ていました。

地域で盛大におもてなし ほたるでナイト

５月19日と20日、荒川小学校周辺で「第17回荒川ほたるでナイト」が開催されました。

子ども達による「荒川太鼓」や、地元の五穀豊穣を祈願する「びょうびょう祭り」、手作りのお弁当に10種類以上の地元野菜の販売など、市内外からの来場者約1,500名を手作りイベントで歓迎しました。辺りが夕やみに包まれ、ホタルが瞬きはじめると、来場者はゆったりと舞う幻想的な光に酔いしれていました。

同日会場横の荒川小学校体育館では、「荒川ほたるでナイト作品コンテスト」の表彰式も開催され、市内小学校から応募があった300点以上の作品が展示され、ホタルをとおした自然の大切さが紹介されていました。

地元郷土芸能

地元物産展

「宝くじ助成金」でイベント用ステージを新設

荒川地区まちづくり協議会は、（一財）自治総合センター「宝くじ助成金」を活用し、ステージを新設しました。

これは、宝くじの社会貢献広報事業である、コミュニティ助成事業を活用したものです。

荒川地区では、ほたるでナイトなどの地域づくりイベントに有効活用することとしています。

みんなでジャンボタニシをやっつけろ

６月２日、舟川後の棚田で、「ジャンボタニシ捕獲大作戦」が開催され、市内外の未就学児から中学生まで59名が参加しました。

これは、舟川後棚田保存会が、田んぼの仕組みを知り、少しでも農業に興味をもってもらおうと、昨年から開催しているものです。

ジャンボタニシは稲を食い荒らす害虫です。参加者は水が張られた田んぼに生息するジャンボタニシを、泥に足をとられながらも、昨年の３倍以上の2.7kgを捕獲しました。その後、田んぼにまかれたスーパーボールを拾う競争や川遊びなど、楽しい時間を過ごしました。

また、地元の舟川後で採れたお米で作ったおにぎりや、手作りの料理が振る舞われ、梅雨の合間の休日を楽しみました。

三井のあゆみ講演会開催

５月19日、三井串木野鉱山㈱で、公益財団法人三井文庫による「三井のあゆみ講演会」が開催されました。江戸の呉服店から始まった三井の歴史が、金融業や鉱山事業から財閥へと成長し、戦後の財閥解体などの大きな変革を経て、現在の三井グループとなった変遷が語られました。三井と串木野鉱山との歴史的関わりなども解説され、集まった市民ら約70名は興味深く聞き入っていました。

大会結果

●第42回市内ソフトテニス大会

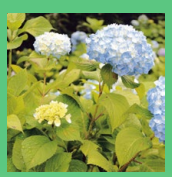
団体優勝した串木野中Ａ男子と串木野西中Ａ女子

５月13日（日）、第42回市内ソフトテニス大会が開催され、10歳から70歳まで総勢170名による熱戦が繰り広げられました。

・団体（一般の部）
　優　勝　串木野中Ａ　　準優勝　チームＫ
　第３位　串木野中Ｂ、市役所
・団体（女子の部）
　優　勝　串木野西中Ａ　　準優勝　串木野中Ｂ
　第３位　神村学園高等部、混成
・個人（一般の部）
　優　勝　前田・木佐貫組（串木野中）
　準優勝　森田・永田組（串木野中）
　第３位　村尾・泉組（神村学園高等部教諭）
　　石元・中尾組（市役所）
・個人（女子の部）
　優　勝　下酔尾・宇都口組（市来クラブ）
　準優勝　中薗・川口組（楓小娘）
　第３位　大平・橋口組（串木野中）
　　前原・塚田組（串木野中）
・個人（ジュニアの部）
　優　勝　安田・下迫田組
　準優勝　和田・坂口組
　第３位　和田・芹ケ野組

クイズ 知っちょっけ？

問い：　梅雨の時期に見頃を迎える花「アジサイ」。青やピンク、白、紫など、市内各所で色



彩かに咲き誇って、訪れる人を楽しませています。
　このあじさいには「七変化」という異名もあります。さて、そのわけは次のうちどれでしょうか。

①時間の経過で花の色が変わる
②咲く時間で花の色が違う
③咲く時期で花の色が違う

答えはこの広報紙のどこかにあります。

●明治維新150周年記念 第31回Ｂ＆Ｇ杯女性ミニバレーボール大会

アップルチームとＢ＆Ｇマスコットキャラクターのアンドリー君

５月13日、第31回Ｂ＆Ｇ杯女性ミニバレーボール大会が開催されました。市内６チームの参加があり、熱戦が繰り広げられました。

・優　勝　アップルチーム
・準優勝　マンディチーム
・第３位　ひまわりチーム

●公民館対抗ベストメンバーバレーボール大会

第49回公民館対抗ベストメンバーバレーボール大会が、５月16日から18日にかけて市来体育館で開催され、約220名の参加者が熱戦を繰り広げました。

・Ａクラス（４チーム）
　優勝　天神町公民館　　準優勝　平向公民館
・Ｂクラス（４チーム）
　優勝　崎野・堀公民館　準優勝　川上地区公民館
・Ｃクラス（４チーム）
　優勝　戸崎公民館　　準優勝　別府公民館

●第73回職域ソフトボール大会

５月20日、多目的グラウンドで第73回職域ソフトボール大会が開催され、15チームによる熱戦が繰り広げられました。

・Ａ級　優　勝　レッドフェニックス
　　準優勝　串樽マリーンズ
・Ｂ級　優　勝　海童ジャパンＡ
　　準優勝　オーシャンクルー
・Ｃ級　優　勝　串木野養護学校
　　準優勝　ベンチャーズ

●第37回春季親善グラウンドゴルフ大会

５月19日、第37回春季親善グラウンドゴルフ大会が開催されました。市内から44チームの参加があり、熱戦が繰り広げられました。

・団体の部　優　勝　串協黒潮
　　準優勝　串協金山蔵
　　第３位　串協長崎鼻
・個人の部　優　勝　若松俊雄
　　準優勝　岡野　貢
　　第３位　西中　彰

●第51回南九州地区パークゴルフ協会連合会パークゴルフ大会

５月24日、第51回南九州地区パークゴルフ協会連合会パークゴルフ大会が晴天のもと盛大に開催されました。鹿児島県・宮崎県から185名の参加があり、熱戦が繰り広げられました。

・男子の部
　優　勝　諫元　伊三雄　（伊佐）
　準優勝　中間　明美　（伊佐）
　第３位　出水　英敏　（いちき串木野）
・女子の部
　優　勝　花立　好子　（いちき串木野）
　準優勝　東　和子　（伊佐）
　第３位　永原　滿子　（いちき串木野）

明治維新150周年記念 第11回　いちきウオーキング大会

５月27日、市来海岸の松林と海岸を歩く第11回いちきウオーキング大会が開催されました。

３㎞・５㎞の２つのコースに、大人から子どもまで197名の参加者があり、自然の中、波音を聞きながらウオーキングを楽しみました。

ゴールでは、実行委員会からふくれ菓子のふるまいや、大会で特別に作られている銘菓甘軽石（あまかるいし）のお土産などがあり大好評でした。

中央まち協　行方不明者捜索訓練

捜索方法などを確認し合う捜索班メンバー

中央地区まちづくり協議会は、６月３日、地区住民など約110名が参加し、行方不明者捜索訓練を行いました。

これは中央地区作成の「行方不明者捜索要領」に基づき、昨年から開催しているものです。参加者は、健康講話で認知症の気付き方や接し方、捜索時のポイントなどを学び、訓練は、情報連絡班、後方支援班（炊き出し）等に分かれ実践。捜索班では、班ごとに捜索方法を真剣な表情で確認していました。

訓練後、参加者からは「認知症の方が安心して生活できる地域社会が必要」などの意見が出され、中央まち協会長の鮫島功さんは、「良い訓練ができた。今後も地域で考え取り組みたい」と話しました。

不明者発見時の様子

ごみ拾い作戦でおもてなし

５月27日、羽島・荒川地区で西郷どん盛り上げ隊によるごみ拾い作戦が行われました。

これは西郷どんとゆかりのある本市を気持ちよく訪れてもらおうと、市内各地で定期的に開催しているものです。今回は荒川地区から薩摩藩英国留学生記念館までの海岸沿い約５kmを５コースに分けて、21名が清掃。同隊の枇榔秋信隊長は、「地域がきれいになり、たくさんの人に訪れてもらえるはず」と笑顔で話しました。

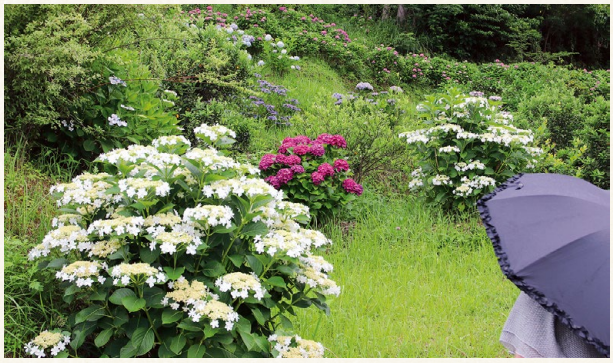
育てた玉ねぎでカレー作り

６月６日、羽島小３年生と４年生の児童14名が羽島交流センターでカレー作り体験を行いました。

これは、れいめい羽島協議会が児童に野菜の植付けから調理までを体験学習してもらいたいと企画したものです。３年生の児童が、２年生の時から育てた玉ねぎを収穫し、自分たちで育てた玉ねぎを使ってカレーを作りました。児童らは、玉ねぎの調理で涙を拭いながらも、出来上がったカレーを「おいしい！」「おかわり！」と、みんな笑顔で食べていました。

しっとりと咲くアジサイを楽しんで

桜の名所として有名な観音ヶ池市民の森では、色鮮やかなアジサイが、管理棟前の杉木立の中や遊歩道沿いで訪れる人々を楽しませています。



深田下集会所手前の山の斜面には、白や赤紫、青といった色鮮やかなアジサイの風景が広がっていました。